

科目名称：信州大学農学部公開森林実習「山岳環境保全学演習」

2単位，標準履修年次：2年生以上

担当教員：荒瀬輝夫，小林 元，宮本裕美子

実施時期：令和6年8月27日(火)～8月30日(金)

集合時刻：令和6年8月27日(火) 13:00

定 員：10名程度

※応募者多数の場合は選考があります。

対象学生：全国の大学生，2年生以上

集合場所：信州大学農学部 食と緑の科学資料館「ゆりの木」

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

問合せ先：信州大学農学部総務グループ附属施設担当

TEL：0265-77-1318 FAX：0265-77-1315

Email：afc_infor@shinshu-u.ac.jp

実施場所：信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター（AFC）

西駒ステーション

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/nishikoma.php>



西駒ステーション地図



台風，災害等のやむを得ない事情によって登山が困難な場合，実習①から実習②に内容を変更する可能性があります。

実習が掲げる SDGs の目標：

山岳環境保全学演習では，中央アルプスの登山を通じて健康的な生活を確保することの重要性を実感し，SDGs の目標3 [保健] について考えます。また，高山環境の脆弱性を目の当たりにすることで気候変動の影響を身近な現象として受け止め，気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策について考えます。亜高山帯の植生観察を通して森林の更新，維持機構について学び，陸域生態系の保護，回復について考えることでSDGs の目標13 [気候変動]，目標15 [陸上資源] の達成を目指す視点を養います。

実習① 通常開講

実習課題：「高山～亜高山帯の動植物，登山道・山小屋等からみた山岳環境の保全」

野生生物と登山道・山小屋などを対象にしたフィールドワークを体感して山岳域の自然環境の保全について学びます。日本アルプスという実際の現場において，初歩の種同定から，フィールドワークの実践，記録から取りまとめまでを一貫して実施します。自身が体感し得られたデータから，何が読み取れ，これから私たちにとって何が必要であるかを考えます。

- 8/27 (火) 【ガイダンス】
 行程：ゆりの木資料館～西駒ステーション（西駒ステーション宿舎で宿泊）
 内容：実習内容の紹介，グループの役割分担，フィールド調査の準備。高山植物の生活史と保護，野生動物の生態と保護管理についての講義。
- 8/28 (水) 【中央アルプス登山と高山環境でのフィールドワーク】
 行程：西駒ステーション～菅の台バスセンター～駒ヶ岳ロープウェー～千畳敷カール～木曾駒ヶ岳～西駒山荘（西駒山荘で宿泊）
 内容：高山植物，野生動物の調査・観察と記録。登山道の維持管理についての観察。
- 8/29 (木) 【フィールドでの学習】
 行程：西駒山荘～西駒演習林内丸尾根ルート～西駒ステーション（西駒ステーション宿舎で宿泊）
 内容：天気図の作成，山小屋をめぐる諸問題について体験・観察。西駒ステーション演習林の亜高山帯森林での実地踏査。
- 8/30 (金) 【フィールドワークの取りまとめと解析】
 行程：西駒ステーション～ゆりの木資料館
 内容：西駒調査結果の取りまとめ，解析とグループでのディスカッション。
 農学部にて解散。

※天候・災害等により，西駒登山のコースを桂小場ルートに変更する可能性があります。
 ※登山ウェアを着用してください。上下の雨具，トレッキングシューズ，ヘッドライトを用意してください。日本アルプスの中級登山コースをこなせる健脚が必要です。

実習② オンライン学習を交えた開講

（日帰りの行程になります。手良沢山ステーションに宿泊します）

実習課題：「山地帯から亜高山帯の動植物，林道・登山道からみた山岳環境の保全」

野生生物と林道・登山道などを対象にしたフィールドワークを体感して山岳域の自然環境の保全について学びます。日本アルプス山麓という実際の現場において，初歩の種同定から，フィールドワークの実践，記録から取りまとめまでを一貫して実施します。自身が体感し得られたデータから，何が読み取れ，これから私たちにとって何が必要であるかを考えます。

- 8/27 (火) 【オンラインによる学習】
 ガイダンス（実習内容の紹介，グループ分け，フィールド調査の準備など）。山岳環境，高山植物の生活史と保護，野生動物の生態と保護管理についての講義。
- 8/28 (水) 【西駒演習林】
 【中央アルプス登山と高山環境でのフィールドワーク】
 行程：農学部～菅の台バスセンター～駒ヶ岳ロープウェー～千畳敷カール～木曾駒ヶ岳～往路下山
 内容：高山植物，野生動物の調査・観察と記録。登山道の維持管理についての観察。
- 8/29 (木) 【手良沢山演習林】
 行程：農学部～手良沢山演習林
 内容：山地帯～高原の植物，野生動物の調査・観察と記録。里山・高原の維持管理についての観察。
- 8/30 (金) 【オンラインによる学習】
 フィールド調査・観察結果の取りまとめ，文献調査，レポート作成と提出。

※天候・災害等により，実習場所・巡検コース・実習内容が変更になる可能性があります（経ヶ岳山麓，大泉川上流，萱野高原，宮田高原などの代替場所を準備）。

注意事項【実習①，実習②共通】：

天候等により，登山・下山のコースと実習内容，宿泊地が変更になる可能性があります。
 また，災害発生時には，安全を重視して実習の中止・打ち切りを判断することもあります。
 台風，地震等のやむを得ない事情によって，実習中止もしくは日程変更になる可能性があります

ます。

参加費用：交通費，食費，宿泊費，傷害保険代を併せて20,000円（実習②になった場合，8,000円）。
※初日のガイダンス前に徴収します。なお集合場所までの旅費は自己負担になります。

宿 泊：実習①の場合：8/27，8/29は西駒ステーション宿舎^{注1)}，8/28は伊那市市営西駒山荘に宿泊
します。

実習②の場合：手良沢山ステーション^{注1)}に宿泊します。

提出書類：自大学の学務(教務)担当者と相談の上，下記の書類を提出してください。
下記，IとIIの受入身分の違いによって提出書類が異なるのでご注意ください。
※受入身分について等，不明な点がある場合は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

I. 単位互換協定の協定校の学生等で特別聴講学生となる場合

以下6点の書類を所属大学・学部の学務（教務）係等へ提出してください。

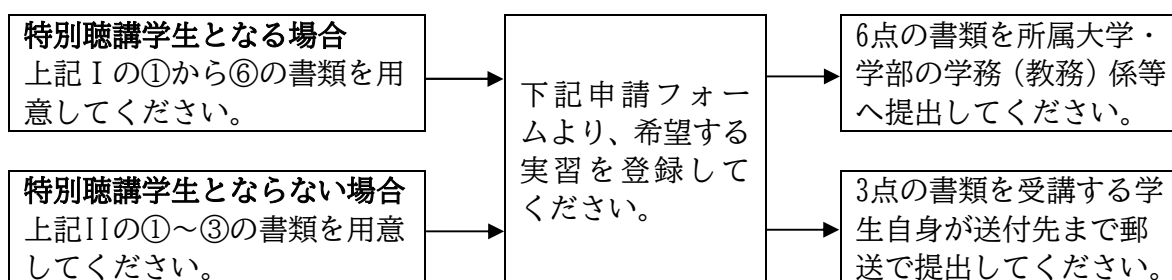
- ①依頼書（履修希望学生の所属大学学部長から信州大学農学部長へ）
 - ②履修願（履修希望学生から信州大学農学部長へ）
 - ③申告書（履修希望学生から所属大学学部長へ）
 - ④受講志望理由書（別紙）
 - ⑤学生教育研究災害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入証明書の写し
 - ⑥成績証明書
- ※書類は所属大学・学部の学務（教務）係等へお問い合わせください。

II. 特別聴講学生とならない場合

以下3点の書類（①②は，下記URLよりダウンロード）を希望学生自身が送付先まで提出
してください。ただし指導教員，クラス担任等の押印が必要です。

- ①申込書
 - ②受講志望理由書
 - ③学生教育研究災害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入証明書の写し
- ※所属大学によっては，正課ではない授業には保険が適用されない場合がありますので
ご確認ください。

申込方法：下記に従って申し込んでください。



※申請フォームおよび様式ダウンロードURL：

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/>
(令和6年度「公開森林実習」受講生募集のお知らせ内のリンクをクリック)



書類送付・お問い合わせ先：

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304 信州大学農学部総務グループ附属施設担当
Tel：0265-77-1318 Fax：0265-77-1315 Email：afc_infor@shinshu-u.ac.jp
※送付の際には，封筒の表に「公開森林実習受講申込書在中」と朱書き願います。

提出締切：I，IIとも令和6年7月5日(金) 信州大学農学部必着

受講許可：書類の提出後，受講の可否について本人に通知します。

履修上の注意事項：

- I. 特別聴講学生となる場合
修了者には信州大学農学部から所属大学・学部の学務(教務)あてに単位修得証明書を発行します。
- II. 特別聴講学生とならない場合
修了者には「修了証」を発行します。その書類を持って自大学で単位の認定を希望する学生は事前に自大学学務担当係等で確認してください。

受講にあたっての注意事項：

◎風邪の症状，発熱，倦怠感など体調に異変を感じた場合は，無理をせずキャンセルしてください。

※キャンセル連絡先：信州大学農学部総務グループ附属施設担当 TEL：0265-77-1318
(実習前日(土日を含まない)13時まで)

◎受講前に必ず安全の手引きをご確認ください。

令和6年度安全の手引きは下記 URL および右の QR コードからご覧いただけます (PDF ファイル/12,572KB)。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/680c2d9b1c42d3b63d1411c301ec99f.pdf>



その他特記事項：

◎食事(実習①，実習②)

・初日は昼食を済ませてから実習に参加してください。実習中の食事はお弁当、ケータリング、自炊などで対応します。

◎欠席について

- ・欠席する場合は，1週間前までに農学部総務グループ附属施設担当まで申し出てください。
- ・直前にやむなく欠席・遅刻する場合は，各回演習の前日(土日を含まない)13:00までに信州大学農学部学農学部総務グループ附属施設担当に連絡してください。

キャンセルポリシー：

開催1週間前以降のキャンセルについては保険代を，実習前日および実習期間中のキャンセルについては参加費用全額を支払っていただきます。なお，台風，地震等のやむを得ない事情によって実習中止になった場合はその限りではありません。

注1：西駒ステーション宿舎および手良沢山ステーションに石鹸，シャンプー，タオル等のアメニティ用品はありません。また施設内に自動販売機はありません。アメニティ用品，常備薬等は各自ご用意ください。

各施設の設備については下記をご覧ください。

西駒ステーション

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/nishikoma.php>

手良沢山ステーション

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/terasawayama.php>